

令和5年 畑作・野菜 病害虫発生情報 第13号

作物名：ね ぎ（7月中旬）

7月中旬に実施した巡回調査の結果をお知らせします。
平年に比べて、さび病や斑点性病害が多く見られています。

1. ベと病（発生量 やや少ない）

発生地点率は平年より低く、発病株率は平年よりやや低かった。

巡回調査におけるべと病の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	発病株率（%）
			甚	多	中	少		
7月中旬	本年	18	0	0	22.2	5.6	27.8	3.8
	前年	16	0	0	0	6.3	6.3	0.1
	平年	18	3.4	4.5	8.5	25.9	42.3	6.3

注）発生程度：発病株率 甚 51%以上、多 31~50%、中 11~30%、少 1~10%

2. さび病（発生量 やや多い）

全ての調査地点で発生が認められ、発病株率、発病度は平年よりやや高かった。

巡回調査におけるさび病の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	発病株率（%）	発病度
			甚	多	中	少			
7月中旬	本年	18	0	0	44.4	55.6	100	25.4	6.5
	前年	16	0	0	18.8	43.8	62.5	9.8	2.5
	平年	18	0	2.9	16.0	53.3	72.2	12.3	3.1

注）発生程度：発病度 甚 41以上、多 21~40、中 6~20、少 1~5

3. 斑点性病害=黒斑病・葉枯病（発生量 やや多い）

発生地点率及び発病株度は平年よりやや高かった。

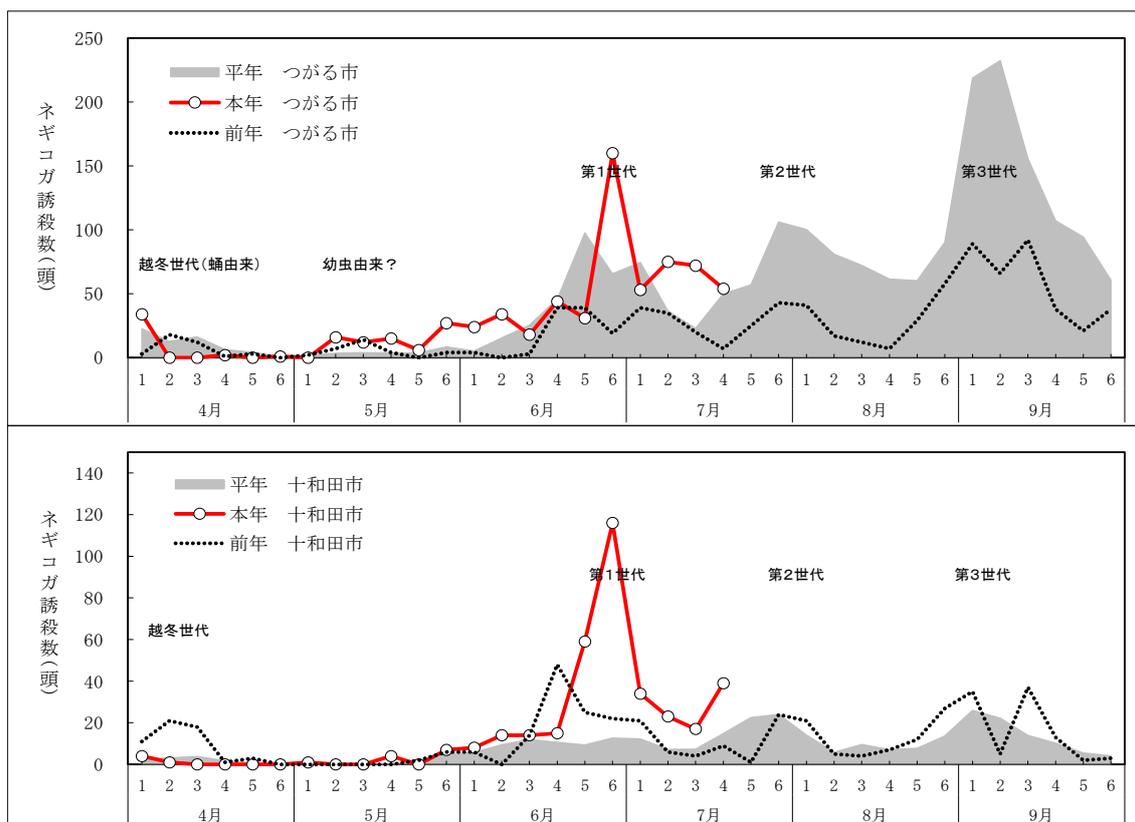
巡回調査における斑点性病害の発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率（%）				発生地点率（%）	発病株率（%）	発病度
			甚	多	中	少			
7月中旬	本年	18	0	0	0	88.9	88.9	13.7	3.6
	前年	16	0	0	0	62.5	62.5	4.3	1.1
	平年	18	0	0	0.6	62.4	62.9	4.4	1.1

注）発生程度：発病度 甚 61以上、多 41~60、中 21~40、少 1~20

4. ネギコガ（発生量 平年並）

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数はやや多く推移しているが、巡回調査における発生地点率、被害株率及び被害度はいずれも平年並であった。



性フェロモントラップによるネギコガの誘殺状況

巡回調査におけるネギコガの発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	被害株率 (%)	被害度
			甚	多	中	少			
7月中旬	本年	18	0	0	0	33.3	33.3	3.3	1.1
	前年	16	0	0	0	12.5	12.5	0.5	0.2
	平年	18	0	0	1.7	38.3	40.0	2.5	0.8

注) 発生程度：被害葉率 甚 76以上、多 51~75、中 26~50、少 1~25

5. ネギハモグリバエ（発生量 少ない）

発病地点率、発病株率及び被害度はいずれも平年より低かった。

巡回調査におけるネギハモグリバエの発生状況

調査時期	年次	調査地点数	発生程度別地点率 (%)				発生地点率 (%)	被害株率 (%)	被害度
			甚	多	中	少			
7月中旬	本年	18	0	0	0	16.7	16.7	0.3	0.1
	前年	16	0	0	0	6.3	6.3	0.1	0.0
	平年	18	0	0.6	0.6	40.1	41.2	4.1	1.0

注) 発生程度：被害度 甚 31以上、多 21~30、中 11~20、少 1~10

6. ネギアザミウマ（発生量 平年並）

発病地点率、発病株率及び被害度はいずれも平年並であった。

巡回調査におけるネギアザミウマの発生状況

調査時期	年次	調査 地点数	発生程度別地点率（％）				発生地点率 （％）	被害株率 （％）	被害度
			甚	多	中	少			
7月中旬	本年	18	0	0	0	66.7	66.7	11.7	2.9
	前年	16	0	0	0	0	0	0	0
	平年	18	0	0	4.5	43.4	47.9	11.4	2.9

注) 発生程度：被害度 甚 61以上、多 41～60、中 21～40、少 1～20

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
担当：主任専門員 柳野利哉